

2019年度入学試験問題出題のねらい (試験入学選考)

中村学園大学短期大学部〔食物栄養学科〕

【英 語】

〈出題のねらい〉

高校で学習した英語の基礎学力・運用力をみる問題で構成。コミュニケーション英語Ⅰ・Ⅱの範囲から、まんべんなく出題している。

第1問 誤りやすい単語の正しいアクセントの理解を問う。

第2問 文法・語彙・語法の基礎的な知識を問う。

第3問 2人の対話文の中で前の発話とのつながりから内容を推測する力、および、文法・語彙・語法の基礎知識を用いた英文の構成力を問う。

第4問 会話の流れを正確に把握する力、コミュニケーション英語力、英文中の情報を正確に読み取り判別する力を問う。イラスト選択問題を含む。

第5問 お金に対する考え方についての英文を用いて、長文の読解力・内容把握力を問う。内容把握以外の瑣末な知識は問わない。

【国 語】

〈出題のねらい〉

高校で学習した基礎力・読解力の定着度を確認する問題を出題している。出題は、国語総合（古文・漢文を除く）の範囲である。

第1問 現代文・評論 山竹伸二『「認められたい」の正体——承認不安の時代』からの出題。

漢字の書き取り・読み、語句の意味などの基本的な知識、空欄補充、傍線部の内容説明、傍線部の理由説明、内容合致といった問題で、文章を論理的に読み取る力を問う。

第2問 現代文・評論 菅香子『共同体のかたち——イメージと人々の存在をめぐる』からの出題。

漢字の書き取り・読み、語句の意味などの問題で基本的な知識を、また、空欄補充、傍線部の内容説明、内容合致といった問題で、文章を論理的に読み取る力を問う。

【化学基礎】

〈出題のねらい〉

化学基礎の基本的な内容を中心に、各分野の内容を幅広くみる問題で構成している。

第1問 「化学と人間生活」「物質の構成」の分野から、単発の小問形式で基礎的な項目について問う。

第2問 「物質と化学反応式」の分野から基礎的な内容を小問形式で、「化学結合」の分野から1つのテーマ問題で標準的な内容を問う。

第3問 酸・塩基の中から、水素イオン濃度、指示薬、pH、中和滴定曲線と濃度の計算などについて問う。

第4問 酸化還元の中から、電池、酸化数、酸化還元反応などについて問う。

【生物基礎】

〈出題のねらい〉

生物基礎の全分野から、基本的な内容を中心に出题する。

第1問 「小問集合」(生物基礎)

生物基礎の全分野から、小問形式で出題する。文章選択を主として、計算問題や組合せ形式

などで、様々な観点から基本的な知識や理解を問う。

第2問 「生物と遺伝子」(生物基礎)

生物基礎の「生物と遺伝子」の分野の内容を中心に出題する。本問では、遺伝子と染色体、遺伝などについて、基本的な知識と理解を問う。

第3問 「生物の体内環境の維持」(生物基礎)

生物基礎の「生物の体内環境の維持」の分野の内容を中心に出題する。本問では、ヒトの心臓と循環系などについて、基本的な知識と理解を問う。

第4問 「生物の多様性と生態系」(生物基礎)

生物基礎の「生物の多様性と生態系」の分野から、小問形式で出題する。語句選択のほかに、文章選択や組合せ形式などで、様々な観点から基本的な知識や理解を問う。